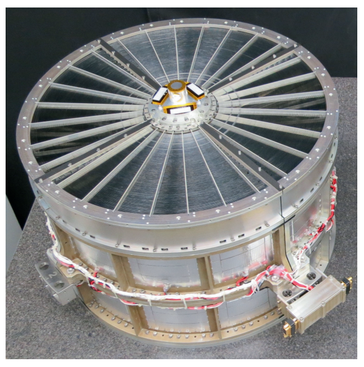
銀河を吹き渡る風をみる

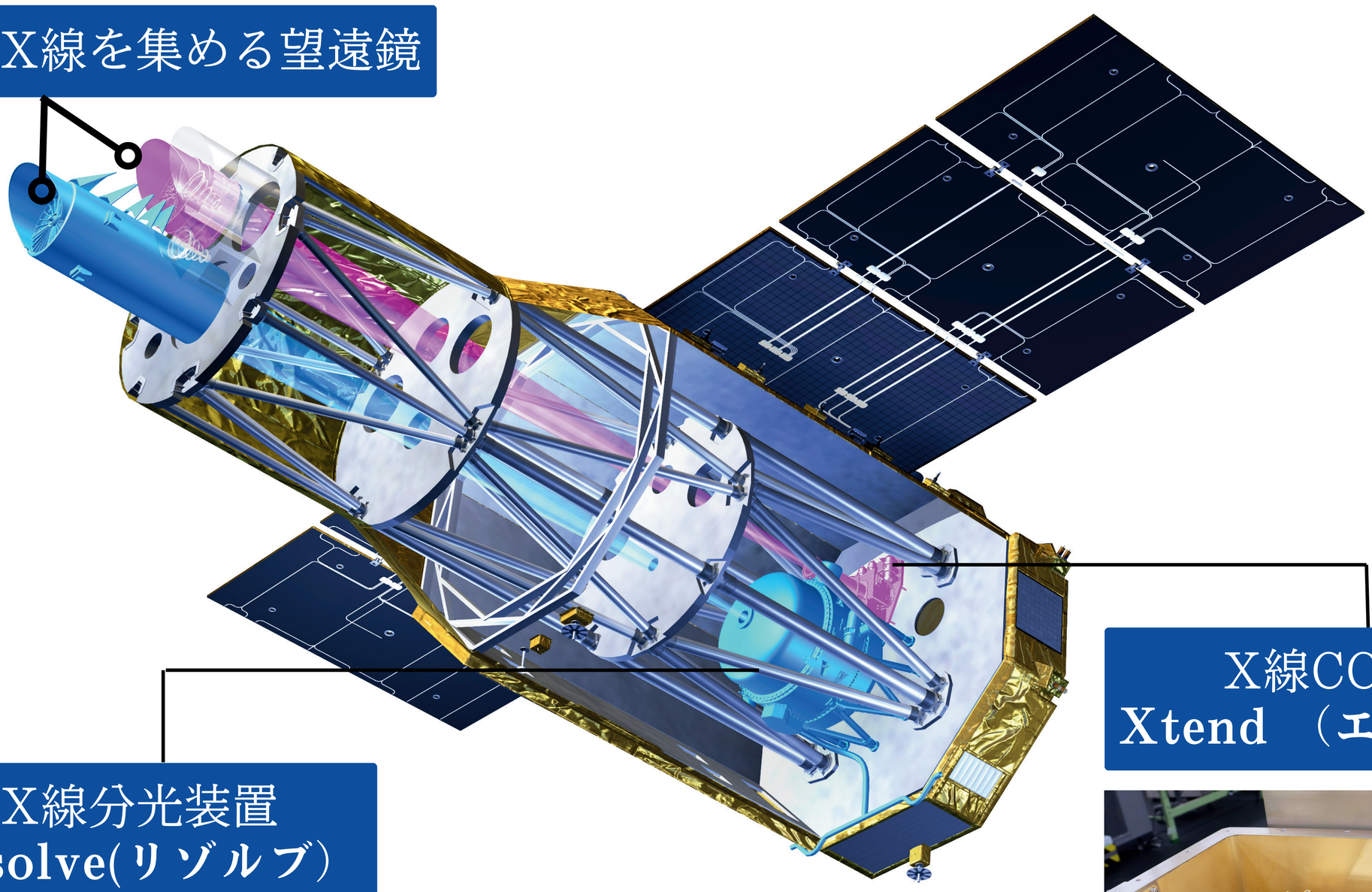
X線分光撮像衛星XRISM

XRISM（クリズム）は、宇宙にある高温ガスを観測する宇宙天文台です。X線の分光器とカメラで、熱く激しい宇宙の現象を調べます。

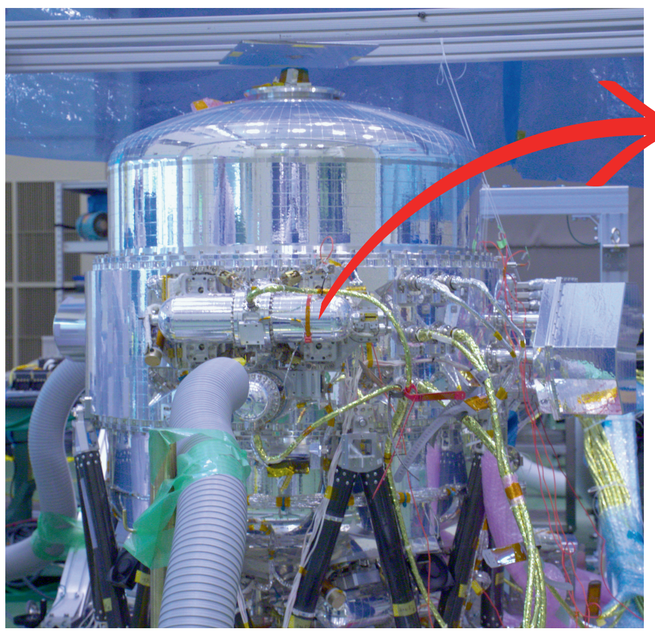


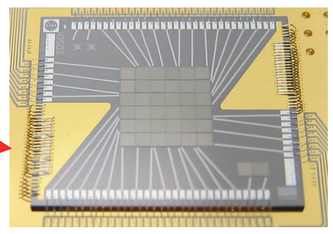
X線は普通の光学レンズで集められません。XRISMの望遠鏡はなめらかな表面の鏡をバームクーヘンのように並べてX線を集めます。表面の凹凸は百万分の1mm以下です。

X線を集める望遠鏡



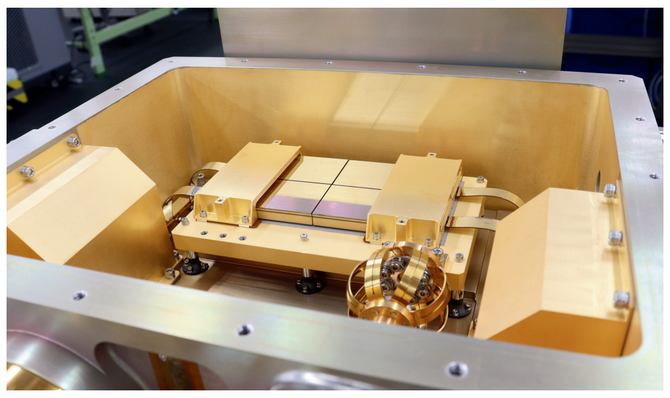
X線分光装置 Resolve(リゾルブ)





X線がセンサーに当たったときに、ごくわずかに温度が上がることを利用して、X線のエネルギーを測る装置です。観測天体の温度や組成、高温ガスの速度を計測します。

X線CCDカメラ Xtend （エクステンド）



とても広い視野のX線カメラです。満月よりも広い領域を一度に観測でき、広がった天体の観測で力を発揮します。

XRISM
ウェブサイト

宇宙航空研究開発機構　X線分光撮像衛星XRISM